

議 事 録

件 名	第1回 大網白里市学校のあり方検討審議会		
日 時	令和5年7月13日(木) 13:00~14:45		
会 場	中央公民館 1階 講堂		
出席者	学識経験者	[Redacted]	城西国際大学 教授
			前白里小学校 校長
	区及び自治会関係者	[Redacted]	大網白里市区長会 会長
			大網白里市区長会 副会長
	教育関係者	[Redacted]	大網白里市校長会 会長
			大網白里市校長会 副会長
	その他教育委員会が必要と認める者	[Redacted]	瑞穂小学校 保護者
			増穂小学校 保護者
			白里小学校 保護者
			増穂北小学校 保護者
			季美の森小学校 保護者
			大網中学校 保護者
	事務局	[Redacted]	白里中学校 保護者
			教育委員会管理課長
			同副参事兼学校教育室長
同副課長			
欠席者	その他教育委員会が必要と認める者	[Redacted]	同学校教育室 主査
			同学校教育室 副主査
			大網小学校 保護者
			大網東小学校 保護者
			増穂中学校 保護者
傍聴人	2名 ([内訳]一般傍聴者1名、報道関係者1名)		
<p><b>1 開 会</b></p> <p>(事務局)</p> <p>会議に先立ち、本日は、大網白里市学校のあり方検討審議会傍聴要領に基づき、1名の傍聴者、報道の方が1名おられますのでご報告いたします。</p> <p>それでは定刻となりましたので、ただいまから、第1回大網白里市学校のあり方検討審議会を開会いたします。</p> <p>それではお手元の会議次第に沿いまして進めてまいります。</p> <p>初めに深田教育長よりご挨拶申し上げます。</p>			

## 2 教育長あいさつ

(教育長)

本日はご多用の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

また、本審議会をお引き受けいただきまして、重ねて感謝を申し上げます。

この審議会は、市内の小中学校の適正規模や適正配置に関して、大網白里市教育委員会の諮問に応じ、調査審議し、答申していただくために設置したものでございます。

日本全体が少子高齢化社会を迎える中、本市においても、人口が減少し、少子高齢化が進行しています。そして、少子化の結果として、児童生徒数が減少し、複数の市立小中学校において小規模化が進んできております。

学校は地域コミュニティの核としての位置づけがある一方、子どもたちの集団生活の場であることから、ある一定数の児童生徒数が必要であるといわれております。文部科学省からは、学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実が求められているところであります。また、本市においては、多くの学校の施設が老朽化という課題に直面していることから、喫緊の課題として今後の大網白里市の学校のあり方について検討する必要性が生じております。

そこで、大網白里市教育大綱で掲げる「心身ともに健康で、創造性に富んだ子どもたちの育成」を実現させるため、大網白里市の学校のあり方について具体的に検討し、現在、教育を受けている子どもたち、そして、未来において教育を受ける子どもたちがより良い環境で教育活動が受けられるようにしなければなりません。委員の皆様と共通理解を図り、将来のビジョンを共有しながら、学校規模の適正化や適正配置について、審議していただきたいと考えております。

委員の皆様の豊かな経験や実務を通してのお考えなど、忌憚のないご意見をいただくことをお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

## 3 委嘱状の交付

(事務局)

続きまして、次第の3、委嘱状の交付をいたします。

お手元の名簿の順にお渡しいたしますので受け取りの際にはその場でご起立くださいますようお願いいたします。

[教育長から委員に委嘱状を交付]

## 4 委員及び事務局紹介

(事務局)

それでは改めまして、委員の皆様の紹介をさせていただきます。

なおご紹介につきましては、同様に、名簿の順にご紹介をさせていただきます。

〔出席委員紹介〕

委員のご紹介は以上でございます。続きまして事務局職員を紹介します。

〔事務局紹介〕

## 5 会長及び副会長選出

(事務局)

次に、会長及び副会長の選出について事務局から、説明をいたします。

大網白里市学校のあり方検討審議会設置条例第5条第2項の規定により、会長及び副会長は委員の互選により定められております。

今回は第1回の初顔合わせということでございますが、会長及び副会長選出につきまして、ご意見等ございますでしょうか。

(委員)

事務局の方で案などがあればご提示いただきたい。

(事務局)

ただいま、ご意見ありましたので事務局案を提示させていただきたいと思っております。

事務局からは、学識経験者の方をお願いしてはどうかと考えております。

今回ご参加いただいた城西国際大学の■■■■教授は、令和2年度に大網白里市総合計画審議会の会長を務められた実績がございます。

また、前白里小学校校長であった■■■■様におかれましては、学校現場のほか、市教育委員会、県教育委員会にご勤務された経験もお持ちの方です。

そこで、事務局案といたしましては、城西国際大学の■■■■委員に会長を、前白里小学校校長の■■■■委員に副会長をお願いさせていただければと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

〔委員席から「異議なし」の声複数あり〕

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、本審議会の会長には■■■■委員、副会長には■■■■委員にそれぞれお願いしたいと存じます。

それでは恐れ入りますが、■■■■委員と■■■■委員には、正面の会長、副会長席の方にご移動をお願いします。

〔会長及び副会長席に移動〕

ここで会長副会長が決まりましたので、一言ごあいさつをいただければと存じます。■■■■会長お願いいたします。

(会長)

会長を務めさせていただくことになりました、■■■■と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私はこちらの方で、総合計画の方を2回ほど、会長をやらせていただきまして、そのご縁で今回も会長の方をやらせていただくこととなりました。私は、専門が財政学や経済学の方でございまして、教育ということにつきましては、全くの素人でございます。ですから、いらっしゃっていただいた委員のみなさんの知恵と経験が頼りでございますので、是非ともよろしくお願い申し上げます。

(事務局)

続きまして、■■■■副会長お願いいたします。

(副会長)

■■■■でございます。私は、令和3年度末まで白里小学校の方でお世話になっておりました。退職しまして少しゆっくりしたいと思っていたのですが、千葉県総合教育センターという県の教職員の研修施設の方に再任用ということで、少しお手伝いをさせていただいております。校長時代というのは、どうしても自分の学校、自分の地域にやはり注意が集中するのですが、この度、県全体の施設というように仕事が変わりました。県内のいろいろな地域の諸問題や動きなどがよく分かるという立場で働かせて頂いております。その情報等も生かしながら、審議会の方で少しでもお役に立てればと思います。■■■■会長を支えながらやっていきたいと思っております。委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

## 6 諮 問

(事務局)

それでは続きまして、深田教育長から■■■■会長へ諮問をしていただきます。  
深田教育長、よろしくお願いいたします。

(教育長)

大網白里市学校のあり方検討審議会 会長 様  
大網白里市学校のあり方検討審議会設置条例第2条の規定により、下記の事項について貴審議会の意見を求めます。

## 1 諮問事項

- ・市教育委員会が提示した学校の適正規模について
- ・市内の各小中学校の今後のあり方について

## 2 諮問理由

少子化の影響により、本市でも児童生徒の減少が進んでおり、複数の市立小中学校において小規模化が進んでおります。また、児童生徒数の減少が見込まれることに加え、多くの学校で施設の老朽化という課題に直面していることから、小中学校の今後のあり方について具体的に検討し、学校の適正規模や適正配置について方向性を示す必要があります。

そのため、市教育委員会では、令和4年5月に「大網白里市立小・中学校再編基本方針」を策定し、学校の適正規模、適正配置に関する基本的な考え方を定めました。

今後、教育委員会において、この基本方針に基づき検討を進めるにあたり、子どもたちにより良い環境で教育が受けられるようにするため、貴審議会の意見を求めるものであります。

大網白里市教育委員会 教育長 深田 義之。

よろしく願いいたします。

[教育長から諮問書を会長に手渡す]

(事務局)

それでは、大変申し訳ございませんが、ここで深田教育長は退席させていただきます。

[教育長 退席]

(事務局)

議事に入る前に、本日の出席委員数についてご報告いたします。

本日は13名の委員の皆様のご出席をいただいております。委員の半数以上の出席がありますことから、大網白里市学校のあり方検討審議会条例第6条第2項の規定によりまして、本審議会が成立しておりますことをご報告いたします。

議事の進行につきましては、同条例第6条第1項により、会長が議長となりますので、          会長よろしく願いいたします。

## 7 議 事 (説明事項)

(会長)

それでは、規定によりまして、議長を務めさせていただきます。

まず、深田教育長から諮問をお受けしましたので、改めて報告させていただきます。

なお、諮問文につきましては、事務局から写しを配付してください。

〔事務局から諮問文写しを各委員に配付〕

それでは、議事に入ります前に、審議会の議事録の公開につきまして、ご意見を伺いたいと思います。

本審議会では、小中学校の適正規模や適正配置について審議し、答申するという  
ことで、市民の皆様に非常に影響がある内容となっております。

このことから、市民の皆様に、審議、経過が明瞭となるような議事録を作成し、  
ホームページ等で公開すべきであろうと思っております。

その中で、発言者の氏名についてでございますが、一つは〇〇委員と氏名を入れ  
る方法と、「会長」「委員」など、氏名を略して作成する方法がよろしいかと思いた  
すが、どちらで議事録を作成していくか、ご意見を伺いたいと思います。

また、議事録については皆様からの意見をまとめたもの（要点筆記）でよろしい  
かと考えておりますが、そちらについてもご意見を併せてお願いします。

どちらがよろしいでしょうか。ご意見ございますでしょうか。

〔委員から意見なし〕

そうしましたら、一つにつきましては、発言者の氏名が記載される方法、それか  
らもう一つは会長、委員等で氏名を略して作成する方法でございますが、どちらが  
よろしいでしょうか。

「会長」「委員」など、氏名を略して作成する方法でよろしいですかね。

では、「会長」「委員」など、氏名を略して説明作成する方法で良いと思われる方、  
挙手の方をお願いします。

〔挙手多数〕

（会長）

ありがとうございました。

それでは「会長」「委員」など、氏名を略して作成する方法で進めさせていただきます。

また、議事録についてですけれども、皆様からの意見をまとめたもの、要点筆記  
で、よろしいかと思っておりますが、こちらも要点筆記でよろしいでしょう。挙手  
の方よろしくお願いいたします。

〔挙手多数〕

ありがとうございました。

それでは、議事録の公開につきましては、会長委員など氏名を略したもので、要点筆記とさせていただきます。

では、議事の方に入らせていただきたいと思います。

議事（１） 大網白里市立小・中学校再編基本方針について事務局から説明をお願いいたします。

## （１）大網白里市立小・中学校再編基本方針について

〔資料５について事務局説明〕

（会長）

ただいま事務局からの説明について、ご意見、ご質問のある方は、ご発言をお願いします。

〔委員から意見質問等なし〕

（会長）

それではご意見ご質問がないようでしたら、続きまして議事「（２）児童生徒数の推移・将来推計について」事務局から説明をお願いします。

## （２）児童生徒数の推移・将来推計について

〔資料６について事務局説明〕

（会長）

ただいま事務局からの説明について、ご意見、ご質問のある方は、ご発言をお願いします。

（副会長）

あり方審議会で審議すべきところは、どの辺まで審議するのか。審議会の守備範囲をお聞かせ願いたい。

（事務局）

まずは、諮問させていただいた内容のとおり、市全体として子どもたちの教育環境はどのようにあるべきか議論をいただきつつ、基本方針の中で適正規模未満として対象として挙げた学校を中心にどのようにしていくか、現状を伺いながら、ご意見をいただきたい。

(会長)

タイムスパンとしては、どれくらいの範囲を審議の対象としているか。

(事務局)

推計資料として、令和11年までの児童生徒数や学級数の推移を示しておりますので、そのくらいの範囲を主眼にご審議頂きたい。

(委員)

白里中学校の保護者の立場で、現状、1学年2クラスないし、1クラスしかない状況で、場合によっては白里小学校から9年間1クラスで過ごすという状況が発生している。資料によると大網中学校だと全体で20クラス以上あるということで、そこで育った子と、小学校からずっと1クラスで育った子では、違うだろうと思う。例えば部活動でも母数が多い方が強いと言ったような状況の中で、同じ数とは言わないが、ある程度の児童生徒数がないと、行事や部活などが盛り上がっていかないだろうなというのを感じています。

(会長)

ご意見、ご質問がないようでしたら、続きまして、「議事「(3)市の財政状況、学校施設長寿命化計画について」、事務局から説明をお願いします。

### (3) 市の財政状況、学校施設長寿命化計画について

[資料7について事務局説明]

(会長)

ただいま事務局からの説明について、ご質問あるいはご意見のある方は、ご発言をお願いします。

(委員)

経常収支比率について、なぜ大網白里市はこんなに高い比率なのか。一般会計費に占める教育費の割合は、他自治体と比べてどうなのか。一般会計決算額と教育費の推移によれば、割合は減り、金額は増えているが、他の予算との比率という点では振れ幅はそんなに大きくないように見受けられるがいかがか。

(事務局)

分かる範囲でご回答いたします。経常収支比率に関しては、県平均よりも高く、県内でもかなり高い数値を出しているが、固定的な予算、例えば人件費や借金の返済に予算の多くが割かれていることから、自由に使えるお金が少なくなっています。

他の自治体との比較について、令和3年度については、東金市や山武市は、本市より少し高かったと認識しておりますが、大きな工事があつたりすると金額が増えて割合が増えるので、一概に比較することは難しいと思われま

す。そして、教育費以外の予算が増えていることから、割合が減っているという認識に、事務局としても相違はありません。

(委員)

将来的に統廃合や大規模な改修や長寿命かといったことを行う場合、どうしてもお金については気になることでしたので質問いたしました。

(会長)

ご意見、ご質問がないようでしたら、続きまして、学校施設長寿命化計画について、事務局から説明をお願いします。

[資料8について事務局説明]

(会長)

ただいま事務局からの説明について、ご質問あるいはご意見のある方は、ご発言をお願いします。

(委員)

長寿命化ってということですが、これは、統廃合とか、そういったことは特に考えずに、今の建物をとりあえず現状の数で、そのまんま長寿命化をしていこうってことで考えているのか。場合によっては、学校を1つにまとめてしまったほうが経費的には、良いということもあるだろうし、最初の基本計画の中にスクールバスの運用みたいなこともありましたが、横長の市であれば、例えばバスを出して学校一つにまとめるみたいな方法もあるのかなと思いました。一応、地域の状況は色々あると思うんですけどもそういうのも方法の一つかなとは思っていて、全部の建物に均等にお金をかけて長寿命化していくのはやっぱり大変だろうなっていうのを聞いていて思いました。

(事務局)

この長寿命化計画はあくまで現状の建物を、長寿命化を取り入れることにより、コストがどのくらい低減できるか、それを算定したものです。これ以外の方法として、学校の再編等も含めて見直していく必要があるというように基本方針の方でうたっておりますので、現状の施設を単純に延命させていくという方針ばかりではないということは申し上げたいと思います。

(会長)

そのほか、無いようでしたら、委員お一人ずつ、ご意見などを頂戴したいと思います。

(委員)

審議会の議事を終えて、どのような意見を述べれば良いのかが分からない。事務局である教育委員会として、どのような着地点、結論を考えているのか。

(事務局)

実際に私たちも噂では、例えば「どことどこの小学校を一緒にする」とかの声は聞きますが、教育委員会はそういう計画は現在ありません。しかしながら、学校は地域に非常に深く付き合うような場所だと思われれます。先ほど、別の委員から発言がありましたが、少なくなればやはり部活動とかができなくなったりとか、クラス替えができなくなったり、いろいろな問題がありますけれども、最初に申し上げたとおり、それぞれの立場でいろいろな意見をいただきたいというのが、まずは目的です。

今回これですぐ結論を出すのではなくて、またそれぞれ委員が戻っていただいたら、何か会議等で集まった時に意見を収集して、こちらの方に質問なり意見なりいただいて、さらに審議会が終わった後でも、このような資料が欲しいとかがあれば、そういうご意見などをいただいて、それらをお返ししていく中で、何かしらの方向性を示していきたいと思っております。

現時点では、こちらとしてはこういう計画を持っているから、こうして欲しいというようなものはありません。

(委員)

私は、現在、増穂中学校において共同事業を行っていて、自治会の中の情報をデジタル化して地区の住民に発信する仕組みを構築しており、中学生に協力をお願いしています。このようなことがやりやすい学校ができるようになると良いと思っています。今後は、小学生にも範囲を広げて、子どもたちからみた防災や防犯ツールを地域住民がみることもできるような仕組みを構築していきたいと思っています。このような仕組みを学校に普及させていきたいと思っていますので御協力をお願いします。

(委員)

学校の適正規模については、白里中学校や白里小学校など人数が減っているところは興味関心が高いでしょうし、他の自治体の統廃合の問題もあるので、すぐではなくとも話として出てくることかと思いました。また、現場にいるものとして、今後のあり方もそうですが、現在の学校施設の改修や修理等についても見通しをもって対応をしていただきたいと思います。

(委員)

学校そのもののあり方について、改めて考えるきっかけとなりました。学校は、地域に根付いた教育活動を展開しています。地域の方々の協力で学校が運営できている状況ですので、地域コミュニティのあり方、児童生徒数の推移、校舎の老朽化等の様々な状況を整理しながら、校長会においても考えていきたいと思いました。慎重な審議が求められるとも思いました。

(委員)

学校自体が、規制などがあり、例えば運動会などが小さくなりつまらないと思う。自分が子どもだったら、学校に行っても仕方が無いと感じる状況だと思う。ですから、学校をそうではないようにしていけたら良いと思いました。

(委員)

自分が子どもの頃と、教育が大きく変化していることから、時代に沿った学校のあり方が良いと思う。将来的には、どんどん学校はくっついていくと思う。資料にあった2060年などの遠い将来の話よりも今を考えていかなければならないと思いました。

(委員)

児童生徒が減ると、先生も減っていき、授業が成り立たない。そこをカバーできるようにしてほしい。また、本日の説明の中で、市として予算がないのであれば、資源回収などをPTAで行うので、車を借りるための予算などをつけてほしい。

(委員)

自分が小学校時代、地元がこちらで、当時は児童数が1,000人以上いたことから、小学校が新しく建てられて、2つの学校に分かれた。そこから30年が経ちましたが、現在は児童数がとても減っていることから、2つの学校をくっつけて元の1つの学校にしても良いのかなと思っている。

お金をかけて校舎を改修するのか、学校を一つにするかななどあると思うが、一番大事なのは、子どもたちがより良く学校生活が送れるようにというのが一番ですので、難しい話ではあるが、今後も良い話があれば良いと思っています。

(委員)

本審議会に参加する前に、市で統廃合などについて方針が決まっていて、それに対して意見を出すと思っていましたが、市としてはまったく案がない状態とのこと。しかし、資料で様々な数字が示されたのを見ると、「統合するしかない」と言っているように感じました。また、審議会において、白紙からすべて作るということは、非常に難しいことだと思いました。

(委員)

まず、PTAの会長として、市の現状について、今回、把握することができて良かった。施設の老朽化が否めない状況である。施設については、長寿命化計画の対象（校舎等）となっていないもの（横断橋、運動場の外トイレ等）で、あったものが使用できなくなったり、無くなったりしている状況です。先ほど、委員がおっしゃられたように、子どもたちがより良い環境で、登下校もできて、学校でより良い生活を送れることに視点を置いております。お金の問題はあるかとは思いますが、そこをなんとかして頂いて、子どもたちの安全、さらに学校は避難所でもありますので、多様化している大災害の対策、その点も踏まえてご審議いただければと思っております。

(委員)

テーマが難しいと思いました。現状で、中学校だけで比べても大きな違いがある中で、同じ場所で諮問事項を審議することは難しいのではと感じました。また、人口や予算を考慮すると、学校の適正規模の話が進まないと思いました。それらのことは一度考えずに、「学校とはこうあるべきものだ」とか、「地域としてこういう学校であって欲しい」ということをあげて形を作っていく、その上で、こういうことをやりたいから予算を措置していきましょうという話になっていくものだと思います。

(副会長)

人口、予算、施設的に厳しい現実が示された。20年、30年先も7つの小学校と3つの中学校という体制は難しいと感じました。本審議会は教育委員会の諮問機関であって、統廃合等の計画は、現在は白紙ということですが、個人的な考えとして、地域という観点から、市としてそれぞれの地域をどう考えていくのか。それぞれの地区全体のビジョンの中で学校はどうあるべきかを考えていくことが良いのではないかと思います。

教育委員会という枠組みの中で、学校をどうするというのではなく、市として各地区をどのようにしていくか方針があって、その中で学校はどうしていくのか決めていく論議があって良いと思いました。

白里地区が念頭になってしまうかと思いますが、白里小学校と白里中学校の状況について、統廃合という話もありますが、他市町村を例とすれば、小中一貫校という形で残すというところもあります。選択肢の一つとして考えてはどうかと思いました。

(会長)

本日は、第1回目ということで皆様からご意見等を頂戴しました。

それでは、以上をもちまして本日の審議会は終わりとさせていただきます。ありがとうございます。

なお、次回の審議会につきましては、概ね9月から10月頃に開催する方向で検討したいと思います。開催日時を事務局とともに調整し、なるべく早く開催通知を出せるようにしたいと思います。

本日は皆さんありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

## 8 閉 会

(事務局)

長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。

それでは以上で第1回大網白里市学校のあり方検討審議会を閉会いたします。

本日はご足労いただきまた、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

また次回に繋がるように考えていきたいと思います。

以上をもちまして閉会となります。

ありがとうございました。